

生存科学 A

目次

特集Ⅱウエルビーイング

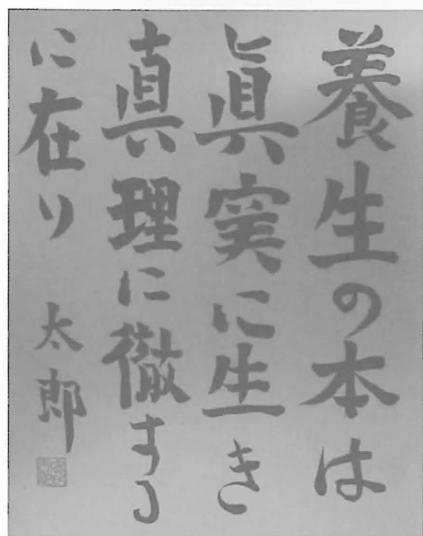
ウエルビーイングへ回頭する技術文明……………	石井	威望	1
アウシュビッツの後で Well-being を論じるのは野蛮である……………	松下	正明	11
環境適応としての胎児期脳発達の変化…精神疾患との関連について……………	後藤	幸織	37
	青木	清	
世界の遺伝情報差別禁止法と日本国民の不利益……………	村重	直子	53
学校保健分野からの「ウエルビーイング」への接近……………	三浦	正行	59
施設入所児童を思う……………	横内	豪	71
自然の掟から真の幸福を考える……………	日置	道隆	83
森づくりの現場と木々の生き様……………	吉野	知明	93
共に生きること……………	細田	満和子	99
よく生きるということ……………	藤原	成一	105
論文			
収束点なき会話…アンコモンスクールの教育……………	齋藤	直子	119
エッセイ			
武見記念館を訪れて……………	大槻	磐男	133

研究会構想

代替医療と語り研究会.....	津谷喜一郎
地域口腔医療研究会構想.....	中島 陽州
先端医療技術倫理研究会.....	大林 雅之
患者・医療者・社会の権利に附随する諸問題について考える研究会.....	坪内 暁子

編集後記

投稿のご案内および規定



生存科学研究所会議室に掲げられている武見先生の色紙

養生とはウェルビーイングなり、と読みとらうる。